

リフォーム リノベーション 増改築 小さい修理 水廻り 大工工事 内装 外壁塗装 屋根工事 キッチン お風呂トイレ エコキュート 窓 玄関 エクステリア 空き家解体

感震ブレーカー工事パック

安全への投資です!

これから一般に販売を始める前に
オレンジナイト CLUB会員様限定!!

一般販売は夏を予定



3パックとも感震ブレーカーは10年電池内蔵、ブザーとLED点滅で電池切れをお知らせ

分電盤交換パック

感震ブレーカー内蔵分電盤に取り替え (50A→50Aプラン)



※写真は30A用ですが、本パックは50Aの分電盤の価格です

1番多いリフォーム

商品 地震あんしんばん
標準工事費 既設処分費
16.8 税別 万円
184,800円(税込)

- 50A→16回路+3回路+感震ブレーカー
- 回路数、メインブレーカーの大きさ、アンペア数によって価格は増減します

感震リフォームパック

既存の分電盤はそのままで (メーカー問わず) その横に設置



商品 感震リニューアルボックス
標準工事費 既設処分費
30Aプラン
11.8 税別 万円
129,800円(税込)

商品 感震リニューアルボックス
標準工事費 既設処分費
50Aプラン
12.8 税別 万円
140,800円(税込)

- 標準工事→外の電気メータを外し及び復旧幹線を抜き、リニューアルボックスに直接入れ、その2次側から電気盤への接続をします

感震ブレーカー取付パック

既存の分電盤がパナソニックのコンパクト21で分電盤の右下に1回路分の空きがあればOK!



商品 感震ブレーカー
標準工事費 既設処分費
5.8 税別 万円
63,800円(税込)

- 標準工事→外の電気メータを外し及び復旧分電盤を開け、感震ブレーカーと設置し、セットする



オレンジナイト リフォーム教室 開校!!

9時間目 全10時間

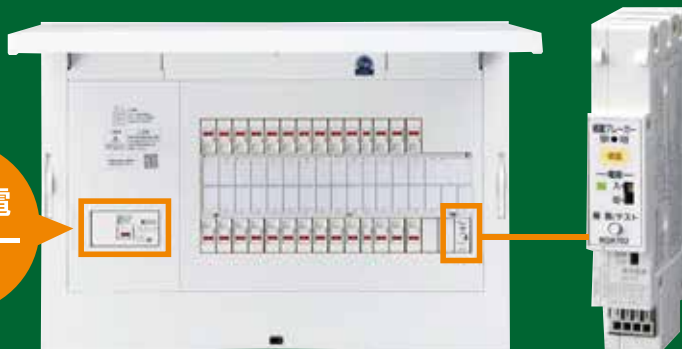
リフォームに関する情報をお届けします!

「感震ブレーカー」

震度5強以上で主幹漏電
ブレーカーを自動OFF!!

地震に伴う火災を防ぐ切り札となるのが「感震ブレーカー」です。震度5強以上の揺れを感知し、遮断装置が作動しますので、電気が復旧しても電気を流さないため倒れた電気ストーブや電気コンロなどからの出火を防ぐことができます。

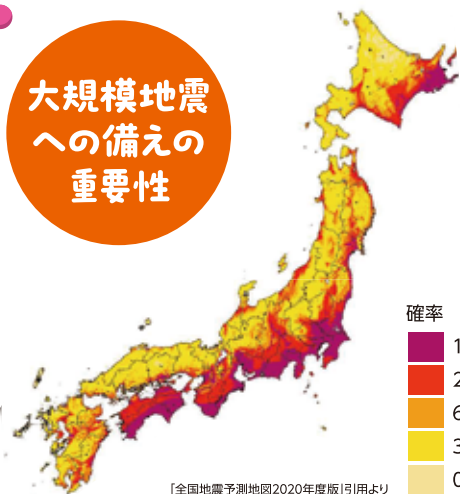
主幹漏電
ブレーカー



地震あんしんばん

感震ブレーカー

大規模地震への備えの重要性



〔全国地震予測地図2020年度版〕引用より

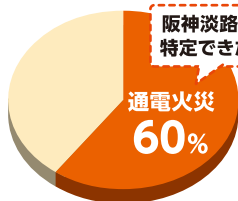
2020年から30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる率

阪神淡路大震災

1995年1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災が発生。国内史上初の震度7を観測。関連死を含めた死者数が6,434人、住宅被害が約64万棟の大震災。多くの人の命を奪い、住まいや仕事など、暮らしの土台を崩壊させました。

死者数	行方不明者数	負傷者数	住宅被害	焼損棟数
6,434人	3人	43,792人 うち重傷者 10,683人	639,686棟 うち全壊 104,906棟	7,574棟

うち全焼
7,000棟
以上



通電火災を防ぐことで焼死403名のうち、約60%の約240名の命を救うことが出来た可能性があります

(兵庫県) 阪神淡路大震災の死者にかかる調査についてより

地震による火災は、半数以上「電気」から!

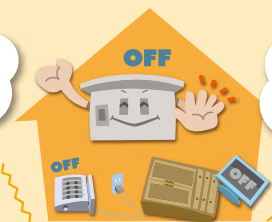
停電から復旧したときに倒れた電気製品や断線したコードから発火する恐れがあります。



「感震ブレーカー」の設置が大切です

震度5強以上の地震が来たとき、感震ブレーカーが住宅分電盤の主幹ブレーカーを強制遮断して電気をストップ。避難時、ブレーカを切り忘れても安心な設計です。

震度5強以上の地震を感知!



3分後に家の電気を自動OFF!!